

熱海駅開業
100周年まで
あと
4日



熱海駅は開業と同時に
熱海駅まで電車で通学し
ていました。駅前には
発が行われていて、改札
に、機関車にも目を向け
てもらえれば幸いです。
た。

熱海駅は開業と同時に
タクシーがあったと聞
きます。昭和40年代は利
者が多く、駅前にはひ
かりなしにタクシーが



著書「使命に生きて」を手に地方医療の実態を語る花房さん＝下田市高馬にある下田循環器・腎臓クリニック

地域医療 赤裸々に

「使命に生きて」出版

下田循環器・腎臓クリニック 花房院長

下田市高馬にある下田循環器・腎臓クリニック院長の花房雄治さん(60)が自身初となる著書「使命に生きて」を人口減少時代の今、地方の医療に求められるものを幻冬舎から出版した。都心の大病院から地方の小さな診療所に移って直面した医療格差の現状を赤裸々に語り、地域医療に携わる医療人らの奮起を促す1冊とした。

(下田支社 晴山文人)

花房さんは東京出身。昭和
大医学部を卒業後、国立循環
器病研究センターで心臓外科
医の経歴を積み、神戸大付属
病院、福島県の中核病院勤務
を経て下田に移住。市内の透

析診療所に勤務した後、同ク
リニック院長となった。
著書では新天地・下田の診
療所に並ぶ古い医療機器、十
分な教育を受けていないスタ
ッフなど、予想を超える地方

医療の現場から受けた衝撃を
告白。聴診器を当てた患者か
ら「診察でこんなことをして
もらったのは初めて」と言わ
れたことを明かし、経営効率
を追求する大病院の「3分診
療」、現代医療の負の部分か
ら脱し、患者に寄り添う医療
の重要性を説いた。

独自の看護師養成プログラ
ム、住民の命を守る医療連携
1〜3次の各医療機関がしっ
かり機能する対策にも言及。
「人や資源が限られる地方こ
そ医療人の使命は大きい」と
医療機関や行政に提言し、地
域医療に対する住民理解の醸
成にも触れた。

花房さんは「医師の口から
『地方だから仕方がない』と
いう言葉をなくしたい。地方
でもできること、地方だから
こそできることを模索し、医
療格差を解消したい」と決意
を語った。

四六判204ページ。税抜き1
600円。地域の書店、同
クリニックでも販売してい
る。

空

賀茂地区
市須崎財産区
任期満了に
関する協定
に関する協定
した。各市町
それぞれに協
議家の管理不
対策を進めて
会が県内市町
定は27市町と
協定では空

2財産区で無投票当選



伊豆新聞 下田支社

下田市東本郷2-9-15
〒415-0035
電話 0558(22)2555
FAX 0558(22)2556

松崎支局
電話 0558(42)3225
FAX 0558(43)0483

伊豆新聞本社
〒414-0054

伊東市鎌田1290-6
電話 0557(36)1234

伊豆新聞デジタル
<https://digital.izu-np.co.jp>

地域最大級
畑直送! 海直送!
南伊豆の旬が
集まる直売所



下田駅から車で約15分
湯の花
行こう
完熟やきいも
販売中